

富士見市鶴瀬地域公民館運営審議会要点記録

開催日時	平成26年11月18日(火) 午後2時～午後4時
会場	鶴瀬公民館 第1集会室
出席者	世羅陽一郎・瀬戸 篤・山川亜希子・田中聰行 鶴瀬公民館長・鶴瀬公民館担当職員 (合計6名)
会議次第	
会議資料	
会議録確認	
公開・非公開	公開(傍聴人なし)
会議内容	
<p>議題</p> <p>(1) 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回鶴瀬地域公民館運営審議会会議報告(10月7日) <p>公民館：要点を記録したものであり、今後富士見市ホームページに掲載するので訂正部分があれば連絡をいただきたい。明日ぐらいまでに確認をお願いしたい。要点記録と会議記録のところへ表示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館事業報告(10月～12月)及び今後の公民館事業予定について <p>公民館：特徴的なところだけを報告。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て関係「ステップアップ講座」として巻きずし作りとベビーマッサージ講座を実施。19人の参加があった。アンケートもとっているので来年度に向けての計画を練っていきたい。 ・子ども教室については、学校と生涯学習課と協議をしているところである。 ・高齢者、介護、鶴瀬学級の関係は、順調に進んでいる。 特に鶴瀬学級については、社会見学として妻沼に行った様子を写真掲示している。11月20日には2つの幼稚園児さんたちに来てもらいホールで発表する教養講座も予定している。 ・パソコン相談室は、従来通りであるが、パソコンについてはウィンドーズXPをネットにつながらない状況で一年経過しているが、ネットにつなげることが必要であると考え、そのパソコンを交換するため新しいものを購入する予定で予算要求をしている。 ・市民生活講座では、そば打ち、親子うどん、タブレット初心者講習会、スマホの講座を今後行う。人気があればまた行いたい。 ・文化活動の関連として公民館まつりは、日程が決まり来年の5月16・17日の予定である。げんもりかんでは、12月6日に「アンコール」の映 	

画を予定している。

- ・ホールの活用では、舞台の緞帳が30年経過している。吊り下げている部分が危険になる時期でなってきた。来年度予算要求をして直す予定である。音響、照明設備も直さなければいけない時期にきているが大きな予算がかかるため計画的にすすめる。
- ・サークル公開月間は、10月1日より行い、今までより多く来ていただいた。公開に参加したサークルは31団体で、見学は49人が来た。昨年は20人で少し増えている。今回は、4館一緒にできなかった。来年度以降どのようにするか検討していきたい。
- ・全市事業、子どもフェスティバルについては、来年度ららぽーとがオープンすることで、渋滞の状況を考え開催日を調整してきた。例年4月20日前後で実施していたものをららぽーとオープンする前に行う予定である。
- ・市民大学については、先日郷土富士見検定行った。正式の公表はしていないが申し込み77名が受験。一般コース55人合格が50人、最高点98点が3人いた。子どもコース22人で全員合格。最高点100点が2名いた。表彰式を12月7日予定。
- ・平和関係事業について、来年度は7月1日～5日頃の開催予定。3月には平和学習会を予定している。
- ・地域自治シンポジウムについては、準備は遅れているが、地域づくりをテーマとしたシンポジウムを行う予定。今日打ち合わせを行う。
- ・援助支援事業については、町会、公運審、公民館利用連の方々の協力を得て、新春のつどいをおおむね1月20日頃開催予定で準備に入っている。お案内が届きましたらご参加いただきたい。
- ・文化活動支援事業については、10月19日サクソと箏曲のコンサートがあり、11月23日にハートフルライブが行われる。
- ・施設提供の関係では、駐輪場のラインを引く、ホール階段の滑り止め、東側通用口の屋根の設置、ホールロビーの電球交換は終了した。特に特徴的なことは、通用口の屋根が付いたことによって、雨の際今まで傘をたたむ時、濡れていたが濡れることがなくなった。ホールの電球交換によりかなり明るくなった。今後は、空調機のオーバーホールと本館入口12個ある電球のうち7個が切れているので交換したい。元から交換が必要であるが予算がないため、市の予備費で出来ないものか調整している。空調機のオーバーホールは、1月6日から9日で実施。暖房が使えなくなるため暖房器具（ストーブ）用意し対応をする。
- ・給排水の設計は、来年度の工事に向け設計がもうすぐ上がってくる予定。
- ・公運審については、12月10日に全体公運審、次の地域公運審は2月を予定している。
- ・利用者懇談会、2月頃に予定している。

- ・公の施設連絡調整会議、10月30日に公民館、交流センター、コミセン、集会関係の担当者課が集まり施設利用免除基準の検討をした。
- ・事業研修担当者会議は、これについては全市事業の調整と併せて公共施設予約システムの検討をすすめている。システムは来年度の終わりごろ28年に導入予定される予定。
公民館が単独でやっているわけではなく市の情報システム担当課でやっているの調整をしながら利用しやすく役に立つものを検討している。市が導入するにあたっては、
見合ったような効果が生まれるものでないとならない。
- ・消防訓練と年末の大掃除を12月19日に行う。

[質問]

公運審：郷土富士見検定を来年も続けるのか。

公民館：この事業は市民大学へ委託している市の事業である。まだ会場として鶴瀬西、針ヶ谷など、やっていない地域がある。今後も実施していくが、NPO市民大学とも協議をしていく。

公運審：このまま終わってはいけない。テストに受かった人を市とドッキングしてガイドスタッフをつくるなど、ひろがりが必要。先がみえるようにすること。

公民館：この事業は議論のある部分ですから考えていきたい。又ご意見を伺ってきたい。

・公民館施設維持管理（修繕）報告

- ・事業報告の中で修繕の内容報告があったので省略。

(2) 平成26年度鶴瀬公民館事業評価担当について

- ・前回会議報告内容で事業評価について再確認をした。
- ・館外の公運審の方には公民館事業の参考として、公民館だよりをお渡しする。
- ・事業評価を事業ごとに整理し担当者を決定した。

公運審：事業を評価するが把握しづらい。

公民館：例えば地域自治シンポジウム実行委員会での事業は、会議録などを提示する。他資料要求があれば対応する。

(3) その他

- ・公運審：公民館や交流センターの特徴は、何を特徴としているのか。

特徴があまりない。公民館の取り組みは、何を重視しているのか。

公民館：全市の公民館でなく地域公民館位置づけで鶴瀬が中央公民館では

なく横並びの状態である。鶴瀬のエリアをみている。
公民館は、教育委員会の社会教育施設としてある。交流センターや
コミセンターは市長部局、市長の管轄のもとにある施設である。
公民館のエリアは条例とか規則で決めていない。内規的なものである
公民館も交流センターも含め市内エリアを分けた方がいいのでは
ないかという意見もあり、議論の最中である。

- ・公運審：公民館利用で若者の集まり参加が少ない。広報活動を見直し若者をひきつける誘いのテーマが必要でないか。
- 公民館：若者が行きたい施設であることが第一である。それには若者の声をきくこと。それに合わせたものをつくることが大切である。

以上

◇会議終了後、全員で修繕箇所(駐輪場・東側入口屋根など)を確認した。

※次回会議 について
平成27年2月3日(火)午後2時～
ボランティアビューロ